

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

冬春栽培トマト産地におけるトマトすすかび病の発生状況(技術情報 5 号)について(送付)このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、参考資料としてご活用下さい。

記

1 目的

平成 18 年 10 月に阿蘇市と阿蘇郡南阿蘇村の夏秋栽培トマトにおいてトマトすすかび病の発生が確認され、平成 19 年 2 月に特殊報を発表した。そこで、県内の冬春栽培トマト主要産地におけるすすかび病の発生状況を把握するため、以下の調査を行った。

2 調査時期：5月中旬～6月上旬

3 調査地域：熊本、宇城、玉名、八代

4 調査方法

すすかび病もしくは葉かび病の発生している葉を 1 ほ場あたり 1 ～ 11 葉採取し、検鏡による分生子観察によってすすかび病の発病を確認した。

5 結果および考察

(1)今回調査を行った地域全てで、程度の差はあるもののすすかび病の発生が確認された(表 1 および別紙)。

(2)今回の調査では葉かび抵抗性品種(麗容、マイロック)を栽培しているほ場ですすかび病が確認される事例が多かった。しかし、葉かび病抵抗性を持たない品種でも葉かび病と混発している事例もあった(表 1)。

(3)以上のことから、すすかび病菌は県内の広範囲に存在すると考えられ、条件が揃えば顕在化する可能性があると考えられる。

表 1：冬春栽培トマト産地におけるすすかび病発生調査結果

地域	品種	葉かび病抵抗性	すすかび病の発生 (発生ほ場数/調査ほ場数)
熊本	麗容	有	4/4
	小鈴 SP	無	2/4
宇城	マイロック	有	1/1
	ハウス桃太郎	無	0/1
	桃太郎はるか	無	0/1
	千果	無	0/2
玉名	麗容	有	2/2
	華小町	無	0/1
	千果	無	0/4
	小鈴 SP	無	0/1
八代	桃太郎はるか	無	1/4
	桃太郎 8	無	0/1

6 防除対策

現在、トマトすすかび病に対する登録薬剤は無いため、下記の耕種的防除を行う。

(1)多湿条件で発病しやすいため、密植、過繁茂をさけ、施設内の換気を行う。

(2)発病葉、被害残さは伝染源となるので、ほ場外に持ち出し適切に処分し、ほ場内の菌密度を高めないようにする。

葉かび病には複数のレースが存在し、抵抗性品種であっても感染するレースが確認されている。葉かび病抵抗性品種に発病しているからといってすすかび病とは断定せず、検鏡による診断を行う。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係(病害虫防除所)
担当：東、福永 電話：096(248)6490

参考資料：冬春栽培トマト産地におけるすすかび病発生調査結果の内容

地域	品種名	型	葉かび病 抵抗性	病 害 の 発 生 (発病葉数 / 採取葉数)		すすかび病発生状況
				葉かび病	すすかび病	
熊 本	麗容	大玉	有	0/9	9/9	全株で発生。下位葉～中位葉まで発病。
	麗容	大玉	有	0/9	9/9	全株で発生。下位葉～中位葉の30%の葉で発病。
	麗容	大玉	有	0/8	8/8	点々と発生。中位葉に点発。
	麗容	大玉	有	0/9	9/9	全株で発生。下位葉～中位葉の20%の葉で発病。
	小鈴SP	ミニ	無	6/6	0/6	
	小鈴SP	ミニ	無	6/7	1/7	葉かび病が点々と発生しているところにまじってわずかに発生。
	小鈴SP	ミニ	無	5/5	0/5	
	小鈴SP	ミニ	無	7/9	8/9	60%の株で下葉に点々と発生している。同じ葉の中で葉かびとすすかびが発生。
宇 城	マイロック	大玉	有	0/7	7/7	全株で発生。下位葉～中位葉まで発病。
	ハウス 桃太郎	大玉	無	5/5	0/5	
	桃太郎 はるか	大玉	無	4/4	0/4	
	千果	ミニ	無	5/5	0/5	
	千果	ミニ	無	5/5	0/5	
玉 名	麗容	大玉	有	0/1	1/1	一畝中、1葉だけ発生。
	麗容	大玉	有	0/1	1/1	一畝中、1葉だけ発生。
	華小町	中玉	無	5/5	0/5	
	千果	ミニ	無	4/4	0/4	
	千果	ミニ	無	6/6	0/6	
	千果	ミニ	無	5/5	0/5	
	千果	ミニ	無	5/5	0/5	
	小鈴SP	ミニ	無	5/5	0/5	
八 代	桃太郎 はるか	大玉	無	6/6	0/6	
	桃太郎 はるか	大玉	無	6/6	0/6	
	桃太郎 はるか	大玉	無	4/4	0/4	
	桃太郎 はるか	大玉	無	7/11	4/11	葉かび病が蔓延しているところにまじってわずかに発生。
	桃太郎 8	大玉	無	6/6	0/6	